

# 北部機械金属業界の景況動向

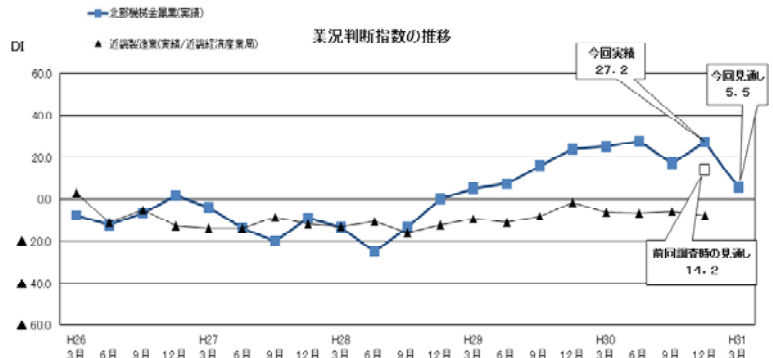
(2018年10～12月実績／2019年1～3月見通し)

- 調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業179社 【調査時点 平成30年12月下旬】
- 回答数：126社（回答率70.4%、内訳は以下のとおり。）
  - ①市町別 = 福知山市:25、舞鶴市:20、綾部市:18、宮津市・与謝郡:12、京丹後市:51
  - ②取扱別 = 一般機械:48、電気機械:17、輸送機械:28、精密機械:16、その他:17
    - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等      電気機械…家電部品、電子部品等
    - 輸送機械…自動車部品、船舶等              精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
  - ③従業員数別 = 1～9人:39、10～19人:29、20～49人:35、50～99人:11、100人以上:12
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

## － 調査結果 －

### 1 景況動向判断

●10～12月実績のDI(業況判断指数)は 27.2 となり、7～9月期(以下「前回」)より9.9ポイント増加した(前回17.3)。地域別では、福知山市域が16.0(前回 0.0)、舞鶴市域が15.0(前回10.5)、綾部市域が38.9(前回5.9)、宮津市・与謝郡域が16.7(前回 -0.1)、京丹後市域が36.0(前回38.0)となり、京丹後市域を除く地域で改善した。



注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

●1～3月見通しのDIは 5.5となり、前回より8.7ポイント低下の見通しとなった(前回 14.2)。地域別では、福知山市域が4.0(前回8.4)、舞鶴市域が0.0(前回10.5)、綾部市域が5.6(前回 -11.7)、宮津市・与謝郡域が8.3(前回5.8)、京丹後市域が7.8(前回30.0)となり、綾部市域及び宮津市・与謝郡域を除く地域で前回より悪化の見通しとなった。

景況動向判断10～12月実績

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	DI
全体	2.4	33.6				8.8
福知山市	24.0			68.0		8.0
舞鶴市	25.0			65.0		10.0
綾部市	5.6	44.4			38.9	11.1
宮津・与謝	16.7			83.3		
京丹後市	4.0	42.0		44.0		10.0

景況動向判断1～3月見通し

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	DI
全体	22.2			61.1	16.7	
福知山市	24.0			56.0	20.0	
舞鶴市	20.0			60.0	20.0	
綾部市	27.8			50.0	22.2	
宮津・与謝	8.3			91.7		
京丹後市	23.5			60.8	15.7	

### 2 採算状況

●10～12月の採算状況は、黒字とする企業が 46.8% (前回 39.7%)と7.1ポイント増加、赤字とする企業は6.4% (前回8.7%) となり、2.3ポイント低下した。地域別では、黒字とする企業は京丹後市域で57.2%と最も多く、全ての地域で黒字とする企業の割合の方が、赤字とする企業より多い結果となった。

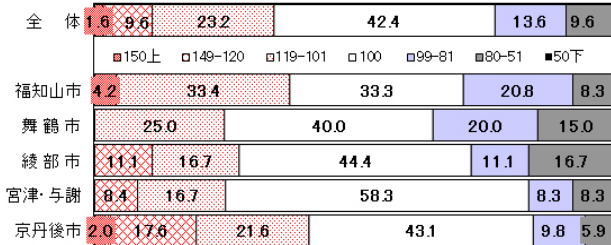
10～12月採算状況

地域	黒字	トントン	赤字	割合
全体	46.8		46.8	6.4
福知山市	48.0		52.0	
舞鶴市	25.0		70.0	5.0
綾部市	55.5		27.8	16.7
宮津・与謝	25.0		66.7	8.3
京丹後市	57.2		36.7	6.1

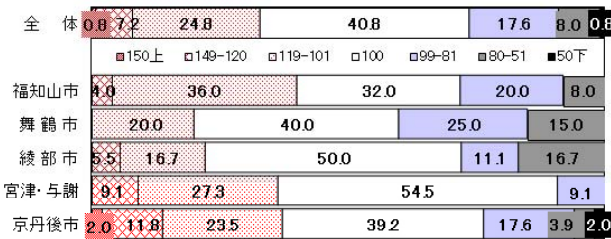
### 3 受注量

●10～12月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業が76.8%（前回78.4%）と1.6ポイント低下した。対3か月前比100%以上を確保した企業は73.6%（前回72.0%）と1.6ポイント増加となった。地域別では、対前年比及び対3か月前比ともに100%以上の受注を確保した企業の割合が、全ての地域で5割を超える結果となった。

10～12月受注量(前年比%)

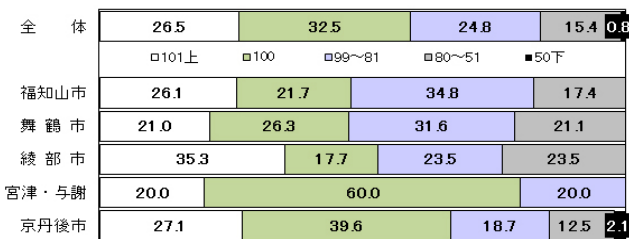


10～12月受注量(3ヶ月前比%)



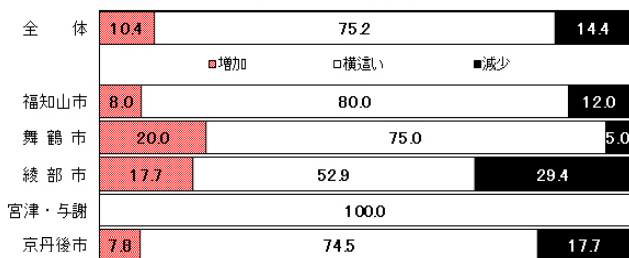
●10～12月の受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業の割合が59.0%（前回60.2%）と1.2ポイント低下した。福知山市域及び舞鶴市域を除く地域で受注能力100%以上の受注量を確保した企業の割合が5割以上となった。

10～12月受注量(受注能力を100として%)



●1～3月の受注見通しは、増加を見込む企業の割合が10.4%（前回17.5%）と7.1ポイント低下の見通し、減少を見込む企業は14.4%（前回5.5%）と8.9ポイント増加の見通しである。

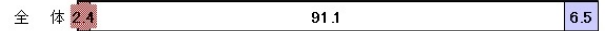
1～3月受注見通し



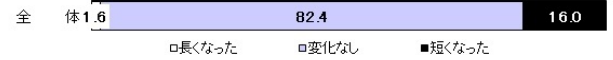
### 4 受注条件（受注単価／納期）

●受注単価が上がったとする企業は6.5%（前回3.3%）と3.2ポイント増加、下がったとする企業は2.4%（前回2.4%）と横ばいに推移した。納期が短くなったとする企業は16.0%（前回16.1%）とほぼ横ばいに推移した。

10～12月受注単価(前年比%)



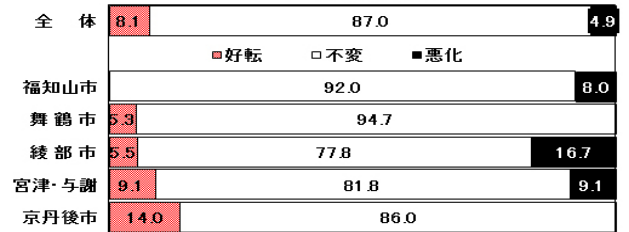
10～12月納期



### 5 資金繰り

●資金繰りは、好転とする企業が8.1%（前回11.9%）と3.8ポイント低下、悪化とした企業が4.9%（前回5.6%）と前回より0.7ポイント低下した。

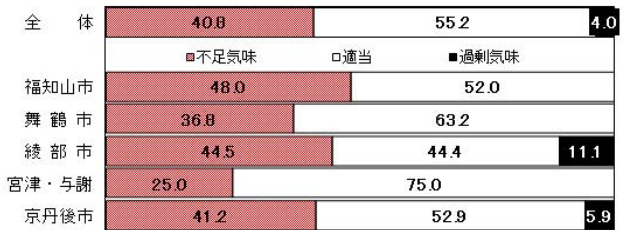
10～12月資金繰り



### 6 従業員数

●従業員数は、不足気味が40.8%（前回50.4%）と9.6ポイント低下、過剰気味が4.0%（前回1.6%）と2.4ポイント増加となった。福知山市域以外の地域で、不足気味とする企業の割合が低下した。

10～12月従業員数



### 7 今後の事業での重視分野

●同業の事業拡大が最も多く（56.1%）、次いで自社技術・製品の開発が多かった（25.2%）。

今後の事業での重視分野

